

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====

【ソフト名】SST G1 アップデートインストーラ

【対象製品】SST G1 日本語版

【登録名】SST G1 Ver.2.0.0.41(日本語版)

【アプリケーション名】G1 Update 2.0.0.41(jp).exe

【著作権者】株式会社キャンバス

【動作環境】Microsoft WindowsXP / Vista/ 7/ 8 (基本+高等のみ)

/ Windows 8.1(基本+高等のみ) / 日本語版

【配布条件】1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。

2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

<Ver.2.0.0.41> 2014.02.13

- 1) ※重要なお知らせ※ **必ずお読みください！！**
- 2) 本バージョンアップによる変更内容
- 3) ドングル更新手順

## 1) ※※※重要なお知らせ※※※

**今回のバージョンから、SSTG1をご利用になるにはユーザーサポート情報が付与されたドングルを使用する必要があります。**

ユーザーサポートに加入されていて、ドングルにユーザーサポート情報を付与されていないユーザー様は、3)のドングル更新手順に沿ってドングル更新を行ってください。

**ドングルへのユーザーサポート情報の付与は、本バージョンへのアップデートを適用する前に必ず行ってください。**

※Ver.2.0.0.38以降にドングルを更新されているユーザー様は、すでにユーザーサポート情報が付与されていますので、ドングル更新の作業は不要です。

※ドングル更新は、**ユーザーサポート期間内**のユーザー様へのご対応となります。

※ドングル更新後であっても、Ver.2.0.0.40 以前のバージョンもご利用いただけます。

ユーザーの皆様にはお手間をお掛け致しますがご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

**※ご注意！！**

**ドングル更新のご対応は、平日の弊社営業時間内でのご対応となります。**

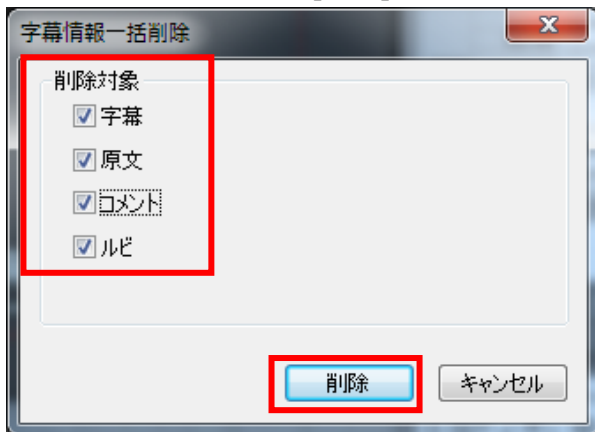
**弊社休業日中にアップデートをされますと、すぐにドングル更新を行えず、最新の SSTG1 が起動できませんのでご注意ください。その場合は、再度古いアップデートでダウングレードしてご使用ください。**

## 2) 本バージョンアップによる変更内容

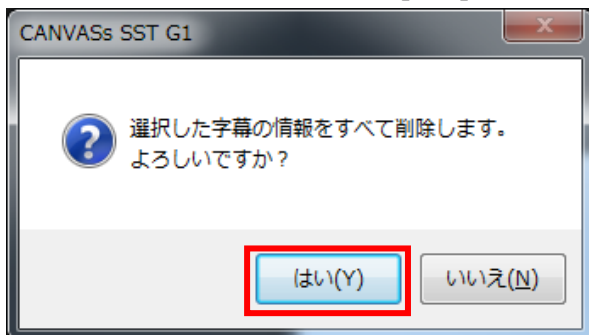
### – 字幕、原文、コメント、ルビの一括削除機能を追加しました。

字幕、原文、コメント、ルビの一括削除を行えるようになりました。基本編集機能に搭載されています。

メニューから、[編集] – [字幕情報一括削除]を選択し、[字幕情報一括削除]画面の削除対象にチェックを入れて[削除]をクリックします。



確認のメッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。



選択した削除対象の字幕情報が全て削除されます。

スポッティングは削除されません。

スポッティングの削除は、[編集] – [字幕削除]をご利用ください。

### – コメント欄の入力可能文字数の上限を255文字から2000文字に拡大しました。

以前のバージョンではコメント欄の入力可能文字数を255文字までとしていました。今回のバージョンでは、入力可能文字数の上限が2000文字に拡大されました。但し、改行も1文字としてカウントされますのでご注意ください。



#### <ビデオトロン・ラムダファイルのインポートに関する修正>

- @を使用した制御記号が2つ並ぶファイルをインポートした際、行末にスペースが入る問題を修正しました。
- 傍点+イタリックの字幕データから、イタリック属性が削除される問題を修正しました。

#### <ビデオトロン・ラムダファイルのエクスポートに関する修正>

- 自由位置を設定した縦字幕のデータが横字幕になる問題を修正しました。

以前のバージョンでは、自由位置を設定した縦字幕をエクスポートすると、横字幕として出力されてしまう問題が発生していました。今回のバージョンでは、自由位置を設定した縦字幕を縦右として出力するように修正しました。

#### <AAFのエクスポートに関する修正>

- フレームレートと解像度の情報が不足していた問題を修正しました。
- 24Pのプロジェクトが、Final Cut Proでは23.98fpsのプロジェクトとして認識される問題を修正しました。

AAFのエクスポートにおいて、フレームレートと解像度の情報が正しく出力されるように修正しました。この修正により、24Pのプロジェクトをエクスポートし、Final Cut Proへインポートすると、23.98 fpsのプロジェクトとして認識される問題についても正しく24Pで認識されるようになりました。

- 00:00:00:00をまたぐプロジェクトファイルがエクスポートできない問題を修正しました。

以前のバージョンでは、00:00:00:00をまたぐプロジェクトファイルのAAFエクスポートを行った場合、クロスリファレンスファイルに何も出力されず、出力に失敗する問題が発生していました。今回のバージョンでは、00:00:00:00をまたぐプロジェクトファイルも正常に出力されるように修正しました。但し、00:00:00:00以前に字幕データが存在していた場合、00:00:00:00以前の字幕データしか出力されませんのでご注意ください。

### 3) ドングル更新手順

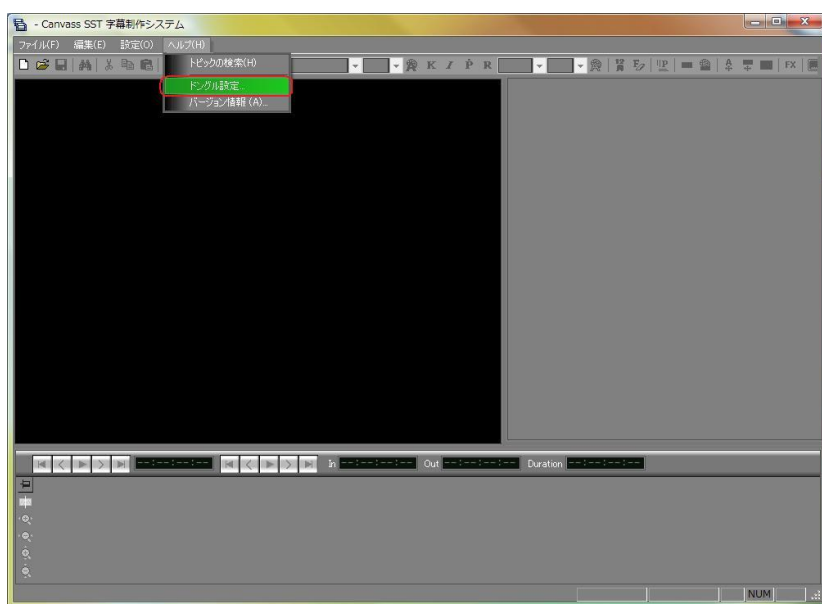
①SSTG1 をダブルクリックして立ち上げます。

※プロジェクトファイルも映像データも開かないでください。

※ドングル更新前に本バージョンアップを適用すると、SSTG1 が立ち上がらなくなります。

その場合は 8 ページ目「※ドングル更新前にバージョンアップを行ってしまった場合」をご覧ください。

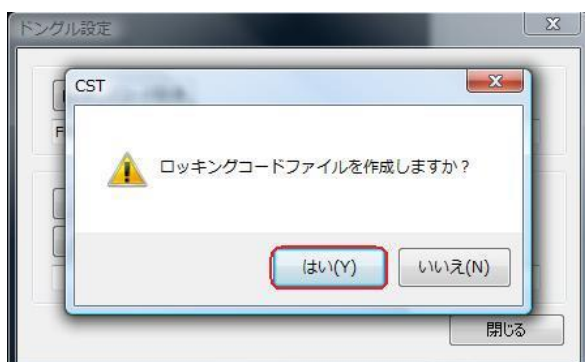
②[ヘルプ] メニューの [ドングル設定] をクリックします。



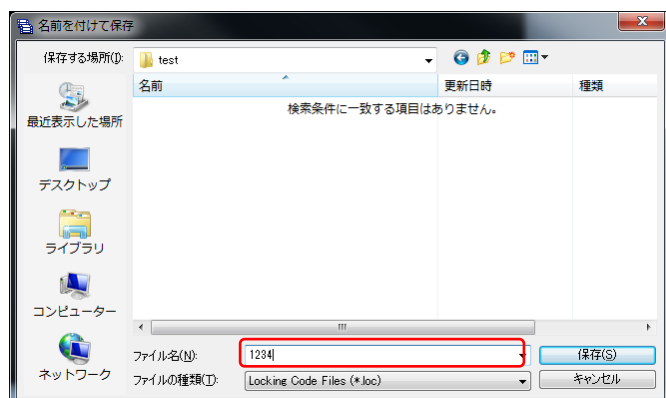
③[ロッキングコード取得]をクリックします。



④[ロッキングコードファイルを作成しますか?] とメッセージが出るので、[はい]をクリックします。



⑤ ドングル番号（数字またはアルファベット混合の4桁の番号）をファイル名として入力し、保存先を指定し、[保存]をクリックしてください。



⑥ ファイル名が入っていることを確認し、[閉じる]をクリックします。



⑦ 保存先に.loc ファイルが出来ます。このファイルを添付して株式会社カンバス宛にメールしてください。  
メールアドレス [sales@canvass.co.jp](mailto:sales@canvass.co.jp) ※お名前を明記してください。



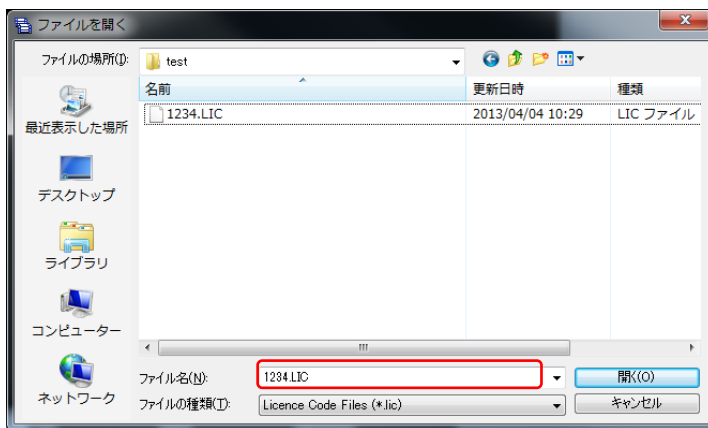
⑧ 株式会社カンバスから.lic ファイルを添付したメールが来ます。このファイルをパソコン上に保存してください。



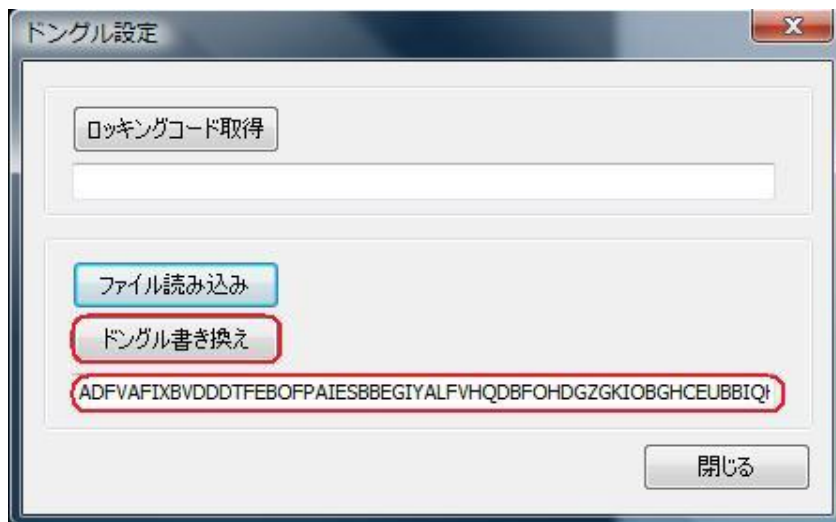
⑨②を参考に、[ dongle設定 ]のダイアログを表示し、[ファイル読み込み]をクリックします。



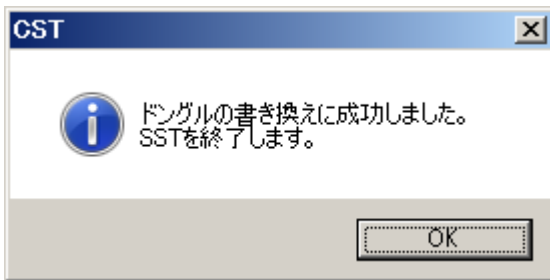
⑩.lic ファイルを選択し、[開く]をクリックします。



⑪ファイル名が入っていることを確認して、[dongle書き換え]をクリックします。



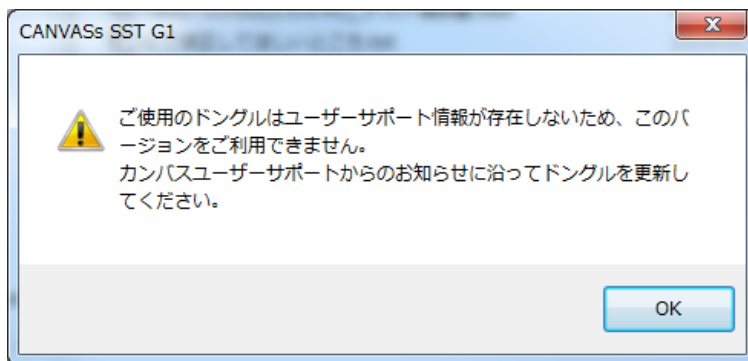
⑫ドングル書き換えが完了します。



これ以降、今回の機能が使用できるようになり、起動時のサポート切れのダイアログは表示されなくなります。

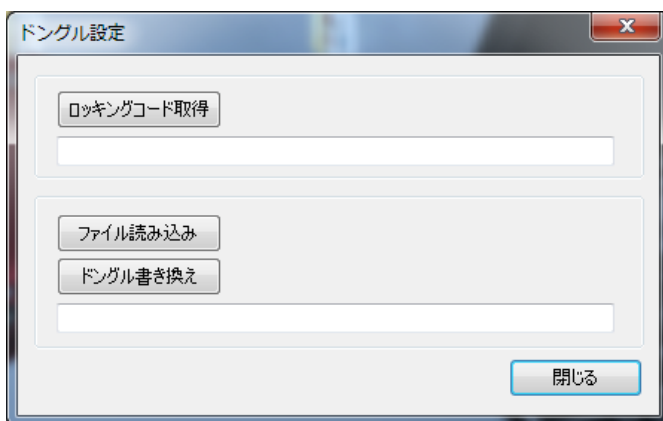
### ※ドングル更新前にバージョンアップを行ってしまった場合

本バージョンアップファイル適用後は、ドングル更新を行っていない場合、サポート期間が有効期間内でもG1を起動すると下記のようなメッセージが表示されます。



[OK]をクリックすると、ドングル設定画面が表示されます。

<ドングル更新手順>の③からの手順に沿って、株式会社キャンバス宛にロッキングコードをお送りください。



また、⑨からの手順は、Ver.2.0.0.41 の G1 起動時に表示されるドングル設定画面にて実施してください。